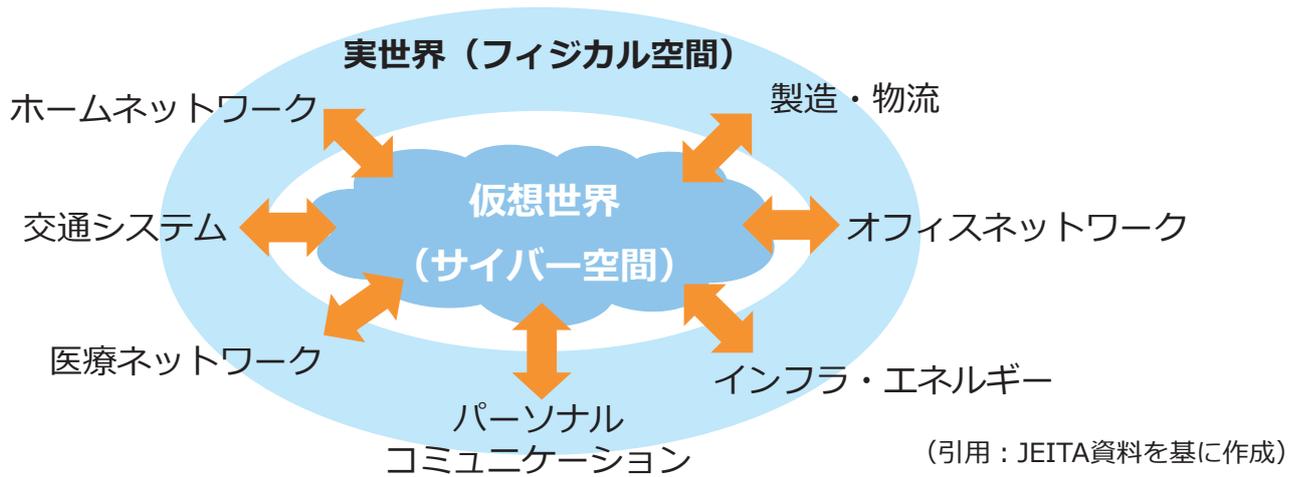


KRIの考える通信の未来と課題

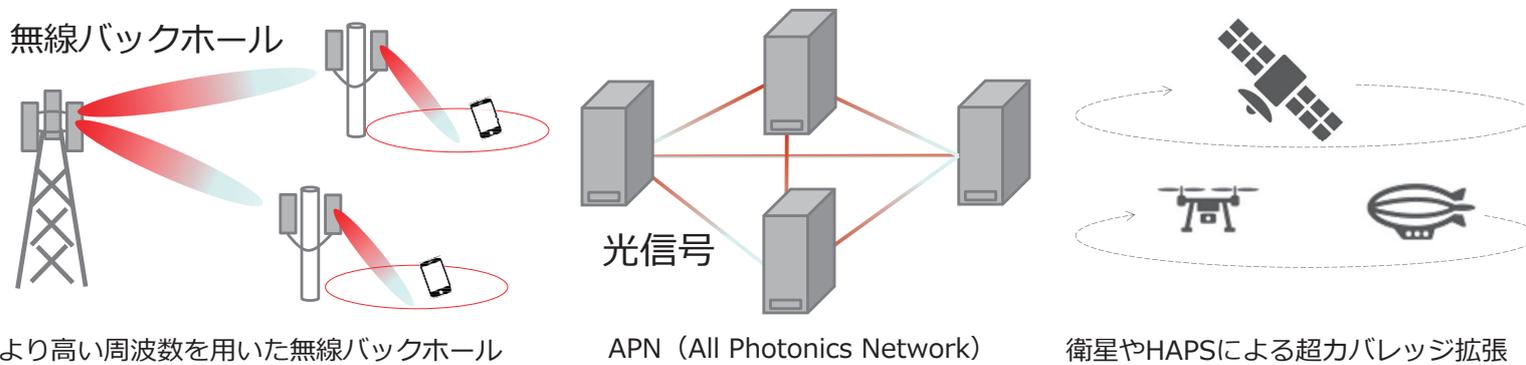
KRIは、材料開発技術を軸に、6Gでの部品材料、高周波デバイス、システムそれぞれの課題に取り組みます

KRIの考える通信の未来

6Gは、サイバーフィジカルシステムのICT基盤として、環境負荷を抑制しつつ革新的に高速化されたネットワークであることが求められます。その実現には無線バックホールやAPN（All Photonics Network）などの幹線系通信の強化や、低軌道衛星やHAPSを用いた通信も必要になります。



サイバーフィジカルシステムの革新的ICT基盤となる6G



6Gを支えるために必要となる技術

通信デバイスにおける6Gでの課題

KRIは、①電磁波制御、②高周波化対応、③APN（All Photonics Network）を6G実現のための必須技術と考えており、これまでの受託開発で培った材料開発技術やノウハウを軸に、必須技術確立に向けた提案を致します。

KRI
材料開発の技術やノウハウ

提案

革新的ICT基盤（6G）の必須技術

- ・電磁波制御
- ・高周波化対応（ミリ波／テラヘルツ波）
- ・APN（All Photonics Network）